

## 評価結果について

大幅な増減の見られた項目のみ抽出。

※ここでの「評価」は、昨年度までの類似質問との比較で、

◎ = 5ポイント以上向上、 ○ = 向上、 △ = 横ばい～微減、 × = 5ポイント以上減少  
 数値は肯定的意見の割合（思う+やや思う）

大項目	対象	質問項目	R3	評価
A) 学習	生徒	テスト前は、自ら進んで学習している。	68%	◎
	保護者	私は、学校のことについて家庭でよく子どもと話をしている。	73%	◎
B) 特活	生徒	HRの係や委員会活動に真面目に取り組んでいる。	85%	◎
		学校行事や生徒会行事に積極的に参加している。	80%	◎
	保護者	家庭では、テスト前など学習に取り組むよう子どもに話しをしている。 馬頭高校の部活動は活発であると思う。	82% 59%	× ◎
	教職員	本校の部活は活発である。	58%	×
C) 生活	生徒	安易な遅刻や欠席をせずに登校している。	81%	◎
D) 進路	生徒	各種検定や資格取得に興味がある。	71%	◎
	保護者	馬頭高校では、各種検定や資格取得のための指導が充実している。	70%	◎
E) その他	生徒	入学して良かったと思う。	78%	○
	保護者	保護者が学校や教職員に相談しやすい雰囲気がある。 馬頭高校に子どもを入学させてよかった。	69% 89%	◎ ×

○部活動に関するアンケート結果は、生徒、保護者は各部活動顧問の手厚い指導によって高めの結果が出ている。一方で職員の部活動に関する結果は非常に低く、部活動業務が大きな負担となっているのではないかと推測できる。今後も部活動のあり方は生徒数減少に伴い縮小傾向を避けることはできないが部活動顧問への負担が集中しないような複数対応等以外にも対策が必要である。

○もう一つの傾向として特別活動関係で生徒の肯定的対応が増加している。コロナの影響から実施延期が続いた行事が縮小されながらも実施され、生徒の主体的な活動が可能になってきたことを示している。今後も生徒会、家庭クラブ、水産クラブなどを中心に生徒主体の行事が活発になることで生徒の学校生活が充実してくるものと考ええる。

○進路に向けた資格取得について肯定的意見が増えており、資格の種類、資格取得者数は増加傾向にある。現状の継続、広がりが望まれる。